

2022 年度 立教大学教会音楽研究所

RIKKYO INSTITUTE OF CHURCH MUSIC

夏の教会音楽ワークショップ

オンライン配信

2022 年 9 月 2 日 (金)、3 日 (土)

この夏の教会音楽ワークショップは、一部の講座を対面で開催してその模様を収録し、オンライン配信で多彩なプログラムをお届けします。



日本基督教団 金城教会 所蔵
ドミニオン・オルガン社製
リードオルガン

講座の URL をそれぞれの配信時間に、お手持ちのスマートフォンや iPad、パソコンのメールアドレスにお送りします。その時間以降は、いつでもご都合の良い時に URL を開いて、何度でも繰り返し視聴することができます。昨年同様、外部からの悪用防止の措置として、一定の配信期間後、URL を変更し、ご希望の方に再送いたします。

プログラム:

♪印は対面で開催する講座です

- ♪ 〈A〉 特別講座 「メンデルスゾーンの宗教音楽」
- 〈B〉 特別講座 「ホスピス緩和ケアの音楽療法
ベビーオルガンの調べとともに」
- ♪ 〈C〉 オルガン講座 「北ドイツ楽派のオルガン曲」
- ♪ 〈D〉 音楽黙想会 「ルツとハンナ 生きる選択への責任」
- 〈E〉 リードオルガン修理講座 「大袋小袋の貼り替え」
- ♪ 〈F〉 リードオルガン講座 「ドミニオンを弾こう」
- ♪ 〈G〉 オルガン講座 「いつもの聖歌とその奏楽曲」
- 〈H〉 『日本聖公会聖歌集による聖歌伴奏・アレンジ集』

〈A〉 特別講座 「メンデルスゾーンの宗教音楽」 (対面)

メンデルスゾーンの個性は、ユダヤ人家系に生まれたキリスト教徒というアイデンティティと切り離すことはできません。バッハの《マタイ受難曲》、《ロ短調ミサ》の復活上演はどのような意味を持っていたのでしょうか。二大オラトリオ《パウロ》と《エリヤ》を通して、彼は何を表現しようとしたのか、コラールをモチーフにしたオルガン曲を聴きつつ、天才作曲家の知られざる本質に迫ります。

講師：星野宏美

オルガン：崎山裕子

対面開講日：7月20日(水) 18:30-20:00

会場：立教学院諸聖徒礼拝堂(池袋キャンパス)

聴講定員：80名

申込締切日：7月13日(水)

演奏曲：Johann Sebastian Bach

・ Wer nur den lieben Gott lässt walten BWV 642

・ Wachet auf, ruft die Stimme BWV 645

・ Schmücke dich, o liebe Seele Bwv 654

・ Allein Gott in der Höh sei Ehr BWV 663

Felix Mendelssohn Bartholdy

・ Choral und Variation "Herzlich tut mich verlangen"

・ Sonata VI Op. 65, 6

配信日：9月2日(金) 9:00-10:30 (申込締切日は6ページ参照)

定員：制限はありません

※この講座の元となる講師の著作『メンデルスゾーンの宗教音楽』(教文館、2022年3月発行)を一割引でご購入いただけます。ご希望の方は、「お申込みフォーム」にご記入ください。

〈B〉 特別講座 「ホスピス緩和ケアの音楽療法

ベビーオルガンの調べとともに」

人生の最終段階にある方が「この音楽を聴きたい、歌いたい」と望む時、そこにはその方の大切な思い出、人生観や死生観が映し出されます。ホスピス緩和ケアにおける音楽療法士の仕事は、患者さんの話に耳を傾け、心の旅路に音楽と同伴することです。聖歌や賛美歌を通して、これまで関わってきた患者さんたちとのエピソードを、エスティ社製ベビーオルガンの美しい音色と共にお伝えします。

講師：米沢陽子

配信日：9月2日(金) 10:45-12:15 (申込締切日は6ページ参照)

定員：制限はありません

〈C〉オルガン講座「北ドイツ楽派のオルガン曲」(対面)

北ドイツ様式のオルガンの音色やタッチにふさわしいレパートリーの中から、礼拝の前奏や後奏に取り入れやすい楽曲を、北ドイツ楽派を得意とされる講師とご一緒に学びましょう。

講師：ジェームス・ドーソン

対面開講日：8月5日(金) 13:00-14:30

会場：日本基督教団 金城教会(名古屋市)

聴講定員：50名

申込締切日：7月29日(金)

課題曲：Dietrich Buxtehude

- ・ Nimm von uns, Du treuer Gott BuxWV 207, Versus 2, 3
- ・ Komm, Heiliger Geist, Herre Gott BuxWV 199
- ・ Fuga in C BuxWV 174
- ・ Toccata in F BuxWV 157

Georg Böhm

- ・ Vater unser im Himmelreich
- ・ Christ lag in Todesbanden

※お申込者には、事前に課題の楽譜をお送りします。

配信日：9月2日(金) 13:00-14:30(申込締切日は6ページ参照)

定員：制限はありません

使用楽器：草苺オルガン(2段鍵盤、ペダル付き、15ストップ)

※8月5日と6日、金城教会にて、Gaudeamusがオルガンとリードオルガンの楽譜を展示販売いたします。詳しくは当研究所のメール music@rikkyo.ac.jp にお問い合わせください。

〈D〉音楽黙想会「ルツとハンナ

生きる選択への責任」(対面)

自分に与えられた変え難い運命、それは無かったことにも変更することも出来ません。しかし、不都合や不条理に囲まれても、人生の節々において何を選択するか、どう生きるのか、その責任は私たち自身の手の中にあります。旧約聖書に登場する全く別の世界に生きた、ふたりの女性を対比しながら、「私は神の前にどう生きるのか」と、再考する機会にしたいと思います。

講師：上田亜樹子

オルガン：崎山裕子

対面開講日：8月5日(金) 15:30-17:00

会場：日本基督教団 金城教会(名古屋市)

聴講定員：50名

申込締切日：7月29日(金)

配信日：9月2日(金) 15:00-16:30(申込締切日は6ページ参照)

定員：制限はありません

使用楽器：草苺オルガン（2段鍵盤、ペダル付き、15ストップ）
ドミニオン・オルガン社製リードオルガン（10ストップ）

〈E〉リードオルガン修理講座「大袋小袋の貼り替え」

リードオルガンの音持ちは、風袋の貼り替えによって格段に改善されます。今回はアドバンスコースとして〈大袋小袋の貼り替え〉について学びます。「解体」「大袋の取り出し」「袋の採寸」「袋剥がし」「バルブの貼替」「押さえのバネの作り方」「ゴム布の貼り方」「取り付け」などの工程におけるそれぞれのポイントについて、詳しく動画でご説明いたします。

講師：伊藤信夫、伊藤園子、相田南穂子

配信日：9月3日（土）9:00-10:30（申込締切日は6ページ参照）

定員：制限はありません

〈F〉リードオルガン講座「ドミニオンを弾こう」（対面）

金城教会所蔵のカナダの美しいドミニオン・オルガンをお借りし、聖歌や奏楽曲を用いたリードオルガン奏法について、リードオルガンのエキスパート中村証二氏をお招きして詳しく学びます。

講師：中村証二

対面開講日：8月6日（土）10:30-12:00

会場：日本基督教団 金城教会（名古屋市）

聴講定員：50名

申込締切日：7月30日（土）

課題曲：・いざやともに（聖歌 318 番、讃美歌 21-11 番）

“Now Thank We All Our God” Charles Callahan

・主イエスの涙に（讃美歌第二編 204 番）

“When Jesus Wept” Charles Callahan

・あがめます主を（聖歌 329 番、讃美歌 21-178 番）

「あがめます主を」坂本日菜

・愛のみ神よ（聖歌 258 番、讃美歌 21-101 番）

「愛のみ神よ」坂本日菜

・神の言よ（聖歌 440 番、讃美歌 21-51 番）

“Blessed Jesus, Here Are We” Flor Peeters

・人の知恵も（聖歌 258 番、讃美歌 21-376 番）

「人の知恵も」中村証二

※お申込者には、事前に課題の楽譜をお送りします。

配信日：9月3日（土）10:45-12:15（申込締切日は6ページ参照）

定員：制限はありません

使用楽器：ドミニオン・オルガン社製リードオルガン（10ストップ）

〈G〉オルガン講座「いつもの聖歌とその奏楽曲」(対面)

礼拝でお馴染みの聖歌(賛美歌)の奏楽法とそのアレンジ曲をたくさんご紹介いたします。リードオルガンでもパイプオルガンでもアレンジ次第で弾くことができる楽曲をレパートリーに取り入れ、奏楽奉仕を楽しみましょう。

講師：崎山裕子

対面開講日：8月6日(土) 13:00-14:30

会場：日本基督教団 金城教会(名古屋市)

聴講定員：50名

申込締切：7月30日(土)

課題曲：・いつくしみ深き(聖歌482番、賛美歌21-493番)

・憂いを脱ぎ去り(聖歌246番、賛美歌21-75番)

・飼い主わが主よ(聖歌462番、賛美歌21-459番)

※お申込者には、事前に課題の楽譜をお送りします。

配信日：9月3日(土) 13:00-14:30(申込締切日は6ページ参照)

定員：制限はありません

使用楽器：草苅オルガン(2段鍵盤、ペダル付き、15ストップ)

ドミニオン・オルガン社製リードオルガン(10ストップ)

〈H〉特別講座『日本聖公会聖歌集による聖歌伴奏・アレンジ集』の使い方について

これまで当研究所が発行してきたアレンジ集の編曲者お二人を講師にお迎えし、それぞれの楽曲の礼拝での活かし方や、さまざまな楽器で弾く聖歌伴奏のあり方について、一緒に学びましょう。

講師：長谷川美保、坂本日菜、崎山裕子

配信日：9月3日(土) 15:00-16:30(申込締切日は6ページ参照)

定員：制限はありません

課題曲：『日本聖公会聖歌集による聖歌伴奏・アレンジ集1~6』

※お申込者には、事前に課題の楽譜をお送りします。

※アレンジ集は、全巻一割引でご購入いただけます。

使用楽器：ティッケルオルガン(3段鍵盤、ペダル付き、31ストップ)

YAMAHA リードオルガン(11ストップ)

参加方法について：

「教会音楽ワークショップ」全ての講座を、YouTube を用いたオンライン配信の形式で配信いたします。各講座の開講時間に、お申し込みいただいた方のメールアドレス宛に URL をお送りいたします。お手持ちのスマートフォンやパソコン、iPad で、URL をクリックして開き、YouTube で動画をご視聴ください。それぞれの配信時間以降は、いつでも視聴することができます。事前に、聴講される場所のインターネット環境をご確認ください。外部からの悪用防止の措置として、9月末までの配信期間後 URL を変更し、ご希望の方に10月1日(土)から再送いたします。

参加費：

	①	②
一般	3,000 円	20,000 円
友の会会員	2,000 円	15,000 円
学生会員	1,000 円	5,000 円

①は1つの講座の参加費

②は全8講座を聴講する参加費

※対面開催の聴講も、オンライン配信の聴講も、同じ参加費です。対面開催で聴講された参加者でご希望の方には、その講座を無料で9月にオンライン配信いたします。

※オルガン講座、リードオルガン講座の楽譜、各講座の資料は、参加費の入金を確認後に送付します。特に郵便局からの通知に時差が生じるため早めのお申込み、ご入金をお願いいたします。

※講師の著作、アレンジ集（ワークショップ参加者は一割引価格）のいずれかを購入ご希望の方は、返送する「お申込みフォーム」のアレンジ集購入希望の欄にチェックをしてください。

※お申し込み時に、教会音楽研究所友の会（年会費：正会員 3,000 円、学生会員 1,000 円）にご入会いただけます。入会ご希望の方は、返送する「お申込みフォーム」の友の会入会希望の欄にチェックをしてください。「学生会員」には大学院生、社会人学生も含まれます。

※参加費は、ご入金後の参加キャンセルによる返金はいたしませんので、ご了承ください。

※対面開催の会場となる金城教会へのお問合せは、ご迷惑になるのでお控えください。

※対面開催の会場となる立教大学池袋キャンパス、金城教会、共に駐車場はありませんので、参加される方は近隣のコインパーキングをご利用ください。

お申し込み方法： 件名に「教会音楽ワークショップ」と明記し、本文に「ワークショップ申し込み」と書いてメールアドレス：music@rikkyo.ac.jp にメールを送信してください。折り返し、「お申込みフォーム」をお送りするので、もれなく記入し最後に「送信」ボタンを押してください。後日、参加費総額と振込先の口座番号を、メールでお知らせいたします。ご入金を確認次第、資料、楽譜等を郵送いたします。研究所 music@rikkyo.ac.jp からお送りするメールが受信できるよう、予めメールの受信設定をご確認ください。URL の開き方がわからない方は、研究所にお問い合わせください。

オンライン聴講 申込締切日： 2022 年 8 月 25 日（水） 17:00

主催・お問合せ： 立教大学教会音楽研究所 E-mail：music@rikkyo.ac.jp

Tel/Fax：03-3985-2786

※研究所へのお問合せやご連絡は、メール又は Fax をお願いいたします。

協力：日本基督教団 金城教会

講師プロフィール（プログラム配信順）：

星野 宏美 **Hiromi Hoshino**

立教大学異文化コミュニケーション学部教授。専門は西洋音楽史。東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、同大学院修了。博士（音楽学）。著書に『メンデルスゾーンのスコットランド交響曲』（音楽之友社、2003年）、『玉川大学教育博物館所蔵メンデルスゾーン自筆ピアノ譜 ゲーテの詩に基づく《最初のワルプルギスの夜》』（雄松堂、2005年）、楽譜校訂に“Mendelssohn Bartholdy: Sonaten für Violine und Klavier”（桐山建志と共同校訂、Bärenreiter、2009年）、論文に「作曲家メンデルスゾーンの素描と水彩 スイス旅行を例にして」（『芸術愛好家たちの夢 ドイツ近代芸術におけるディレッタンティズム』所収、三元社、2019年）ほか。今回の講座は、近著『メンデルスゾーンの宗教音楽 バッハ復活からオラトリオ《パウロ》と《エリヤ》へ』（教文館、2022年）の紹介を兼ねる。当研究所所員。

米沢 陽子 **Yoko Yonezawa Kaburagi**

東京藝術大学音楽研究科博士課程（古楽専攻）修了、博士号取得。文化庁芸術家海外留学研修員として渡独し、シュターデオルガンアカデミーにて研鑽を積む。桐朋学園大学音楽療法講座修了。演奏活動の傍ら、1998年よりホスピス緩和ケア領域で音楽療法に取り組む。日本音楽療法学会認定音楽療法士、聖ヨハネホスピス音楽療法士。カトリック山手教会カトリック目黒教会オルガニスト。東京純心大学客員教授、立教大学キリスト教学研究科特任教授、当研究所所員。

ジェームス・ドーソン **James Dawson**

米国オハイオ州クリーブランド生まれ。オバリン大学でオルガンとチェンバロを学び、スタンフォード大学で芸術修士及び音楽博士号を取得。博士号の論文は「日本の南葵文庫に残されている17世紀英国の鍵盤楽器音楽の手写本」。スタンフォード大学のオルガニスト及び講師、カリフォルニア州サンノゼのトリニティ大聖堂音楽監督を経て、1995年に来日。2001年まで立教大学助教授、及び立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊第4代聖歌隊長を務めた。1998年、立教大学教会音楽研究所を設立し、初代所長に就任。日本各地や、アメリカ、ドイツでオルガンの演奏活動を行う。2018年再来日し、2022年3月まで立教女学院オルガニストを務めた。現在、楽譜輸入販売 Gaudeamus を運営。当研究所所員。

上田 亜樹子 **Ajuko Ueda**

1985年、聖公会神学校卒業。日本聖公会横浜教区で奉職した後に渡米。Women's Theological College 及び、Episcopal Divinity School を1994年に卒業後ハワイに渡り、インターンシップを経て病院チャプレンとして奉職。アメリカ聖公会ハワイ教区の聖マーク教会、海辺の聖ヨハネ教会の牧師を務めた。2003年～2012年、立教大学チャプレンを務める。

現在、日本聖公会東京教区月島聖公会牧師、神愛教会、葛飾茨十字教会、浅草聖ヨハネ教会の管理牧師を務めている。当研究所所員。

中村 証二 **Shoji Nakamura**

1961年愛媛県生まれ。4歳からリードオルガンを習い始め、11歳で教会学校奏楽者、12歳で礼拝奏楽者を務めてきた。ピアノを金井紀子氏、オルガンを故・林佑子氏、リードオルガンを故・曾山一夫氏に師事。倉敷教会 MUSTEL ハーモニウム修復記念演奏会、陸前高田市奇跡のオルガン復活記念コンサート、博物館明治村聖ヨハネ礼拝堂所蔵オルガン修復記念コンサートなど、歴史的オルガンによる多数の演奏会に招かれており、楽器と対話しながら紡ぎ出す個性的で美しい音色には定評がある。教会カンタータ、メサイア等、古楽の演奏会で演奏。2020年、フォーレのレクイエム全曲演奏会で100年前のフランス製ハーモニウムによる伴奏を務めた。リードオルガンの指導者として関西キリスト教音楽講習会をはじめ、

全国のさまざまな講習会の講師を務めている。ソロCD「そよ風のリードオルガン」「君もそこにいたのか〜オルガンで綴るキリストの生涯〜」(コウベレックス)。日本基督教団善通寺教会オルガニスト。日本リードオルガン協会運営委員。日本オルガン研究会、日本賛美歌学会、キリスト教礼拝音楽学会、会員。

伊藤 信夫 **Nobuo Itoh**

慶応義塾大学卒業。現在、会社相談役の傍ら、「リードオルガン・ホームドクター」として、リードオルガンに関する相談、修理に携わっている。日本バプテストキリスト教目白が丘教会会員。日本リードオルガン協会会員。

伊藤 園子 **Sonoko Itoh**

武蔵野音楽大学卒業。夫の信夫氏とともに、リードオルガンの相談や修理に関わりながら、演奏会や講習会を開催し、リードオルガンの素晴らしさや正しい奏法を伝えることに力を注いでいる。現在、ユピラーテ奏楽者の会、チェレストアの会、プニューマの会の講師。日本バプテストキリスト教目白が丘教会会員。日本リードオルガン協会会員。

相田 南穂子 **Naoko Aida**

東京音楽大学卒業。リードオルガン奏者として演奏活動の傍ら、失われつつある古のリードオルガンを修復する必要性に目覚め、修理法を学んできた。現在、日本聖書神学校、キリスト教音楽院の講師。日本基督教団大泉教会会員、日本リードオルガン協会会員。

長谷川 美保 **Miho Hasegawa**

東京藝術大学及び同大学院修士課程でオルガンを専攻し、修了。オランダ政府給費留学生としてアムステルダム・スウェーリンク音楽院で学ぶ。ベルギー・ブルージュ国際コンクール・オルガン部門、オランダ・シュニットガー国際オルガンコンクール入賞。明治学院音楽主任・オルガニスト、明治学院大学講師を務めている。一般社団法人日本オルガニスト協会理事、日本オルガン研究会会員。

坂本 日菜 **Hina Sakamoto**

桐朋学園大学作曲専攻を経て、聖グレゴリオの家宗教音楽研究所専攻科ディプロマコース修了。作曲を三善晃、オルガンを水野均、岩崎真実子の各氏に師事。日本聖公会聖歌集に収録されている聖歌・ミサ曲をはじめ、宗教作品を数多く手がけ、国内外で演奏、出版されている。また立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊の委嘱による作品に『栄光の王なる主をたたえよ』、『主よ、あなたの平和のために』、『レクイエム』などがある。東アジア国際作曲コンクール第3位、洗足現代音楽作曲コンクール特別審査員賞受賞。日本聖公会横浜聖アンデレ教会オルガニスト、クワイヤリーダー。日本聖公会横浜教区礼拝音楽委員。当研究所所員。

崎山 裕子 **Yuko Sakiyama**

国立音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。日本基督教団国立教会で受洗し、当時の主任オルガニスト故・笠井君子氏にリードオルガンを師事。聖グレゴリオの家宗教音楽研究所本科修了。1997年、スイス・バーゼル音楽院オルガン科コンサートクラスを最優等で修了、ギ・ボヴェ氏に師事。アメリカ・ボストンのニューイングランド音楽院に短期留学し、故・林佑子氏に師事。2003年、立教学院オルガニストに就任し、立教学院の式典や礼拝の奏楽、立教大学オーガニスト・ギルド指導者、立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊の伴奏者を務めている。立教大学大学院キリスト教学研究科兼任講師、当研究所所員。